

Library News

附属図書館参考図書書架及び新着図書コーナーの整備について

附属図書館本館の耐震改修工事に伴う館内の環境整備の一環として、参考図書室の書架及び新着図書コーナーのディスプレイラックの整備を行いました。



参考図書室用書架



新着図書コーナー用ディスプレイラック

工事は平成 26 年 3 月 14 日（木）から 3 月 17 日（月）にかけて実施し、参考図書用書架 6 台と新着図書コーナー用ディスプレイラックを 1 台設置しました。

参考図書用書架については、棚一段当たりの高さゆとりのある書架となり大型の資料が取り出しやすくなるとともに、従来の 3 段式の書架 10 台を 5 段式の書架 6 台に置き換えることによって、捻出された空きスペースに 4 人分の閲覧用机と椅子を増設し、閲覧利用者の便宜を図ることができました。

新着図書コーナー用ディスプレイラックについては、メッシュ式のボードにフックスタンドで図書を展示する方式となり、利用者に対してより効果的に図書をアピールできるようになりました。

今回整備された設備は、耐震改修工事完成後それぞれのコーナーに移設の上、引き続き使用する予定です。

「太宰治英語ノート」デジタル版公開

附属図書館では、12 月 20 日より、貴重資料に指定されている「太宰治英語ノート」のデジタル版を附属図書館のホームページ内で公開しました。昨年「阿仁鉦山関係絵図」に続き 3 件目の公開となります。

太宰治英語ノートは、平成 21 年 9 月、小野正俊氏（神奈川県逗子市在住。著名な郷土文学研究家小野正文氏のご子息）から、寄贈を受けたものです。なお、平成 26 年度中に「太宰治修身ノート」のデジタル版を公開する予定です。

医学部分館開館時間延長及び館内整備について

医学部分館では、学生等からの要望を受け、平成26年4月より閉館時間を20時から22時に延長しました。また、1階に持ち込みパソコンが利用できるスペース（図書館内の電源が使用可能）を用意し、利用者サービスの改善をはかりました。

利用者の皆様の学習や研究に貢献できるよう引き続きサービス向上に努めて参りますので今後ともよろしくお願いいたします。



弘前大学出版会より新刊紹介

『東日本大震災からの復興(1)想いを支えに』

監修：李永俊・渥美公秀



「今、こうやって振り返ってみて、娘や孫たちにしゃべっておかなければいけないと思ったのは、この恩返し。世の中の人たちに。」本書は、岩手県九戸郡野田村の住民による東日本大震災の経験を「聴き書き」した記録である。震度5弱の揺れに襲われた野田村には、大津波が押し寄せ、全世帯の約3割の家屋が被害を受けた。この未曾有の経験とはどのようなものであったのか、またそれ以前の村の暮らしはどのように営まれていたのか、そして人々はこれからの未来をどのように思い描くのか。本書にはこうした、年代も性別も異なる19人の野田村民のさまざまな語りが、聴き取り者とのやりとりを含めて、まとめられている。筆舌に尽くしがたい震災の様子を、ときに涙しながら、後世のためになるならば、とお話をしてくださった。野田村はもちろんのこと、多くの被災地の復興に向けて、また次世代の子どもたちへの教訓としても、本書が寄与するところがあれば幸いである。